

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06382	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	フロクキュレーション解析に基づく環境界面工学の展開	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	足立 泰久 (筑波大学・生命環境系・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、土壌と水環境におけるコロイドのフロク形成と動態に関わる界面現象の解明とその応用を目指すものである。</p> <p>中核となる3つの小課題は着実に研究を進めている。コロイドの凝集過程に関する解析では、吸着分子の相互作用とコロイド凝集作用の関係を明らかにし、また、沈降過程に関する解析では、沈降現象に及ぼすフロク間干渉の影響のモデル解析を進め、優れた研究成果を上げている。一方、現場への応用を目指した3小課題については、前述の中核3課題の研究成果を基礎に展開する計画となっており、微生物の関与も含めて、今後の研究の進展が期待できる。</p>		